

第 22 回熊本市景観審議会議事録（要旨）

日 時 平成 26 年 6 月 26 日（木）午前 10 時 00 分から午前 11 時 50 分

場 所 国際交流会館 4 階 第 3 会議室

出席者（委員）伊藤会長、村上会長代理、秋元委員、大脇委員、鋤先委員、三角委員、西山委員、志水委員、濱崎委員、田中委員、坂井委員、河野委員、緒方委員
（事務局）田雑総括審議員、宮本開発景観課長、中嶋課長補佐、川崎主幹、村上技術参事、松澤技師

【議題】 技術的助言を踏まえた N H K 熊本新放送会館の建築計画について（報告）

【概要】

事務局より、技術的助言を踏まえた N H K 熊本新放送会館の建築計画について報告された。

新たな建築計画については、技術的助言に対しての対応を評価する意見とともに、更なる改善を要請することができないかとの意見もあった。特に色彩については、明度をもっと上げることができないかとの意見が強くあり、各種意見とあわせて事業者に伝えることとされた。

また、景観審議会で出された意見については、シンボルプロムナードにおけるデザイン調整を行う桜町花畑まちづくりマネジメント委員会デザイン調整会議にも伝えることとされた。

今後の課題として、これまでの議論を通じて、対比効果（コントラスト）などの基準について明示的かつ定量的に景観計画へ反映できないかどうかの検討が必要であることが指摘された。個別の意見については次のとおり。

＜鉄塔部の構造について＞

- ・ 今回の建築計画では鉄塔部のシルエットは細くされており熊本城から見える景観においてかなり評価できる。圧迫感が少なくなった。
- ・ 空への溶け込み感との助言に対して東西方向のルーバーを外したものの、階段が目立つので、やはりルーバーがあった方が良いのではないかな。

＜鉄塔部の明度について＞

- ・ 空との対比及び周辺の高層建築物との対比に配慮して明度をさらに上げていただくことを要望したい。
- ・ 鉄塔部の明度は建物とのメリハリはあっても良いのではないかな、あまりトーンがグレーになりすぎるのは無機質すぎるので今の色くらいで良いのではないかな。
- ・ 今回の計画では明度を上げるという対応をしており、設計者の意思を尊重したい。

＜建築計画全体について＞

- ・ 熊本城に合わせた白黒というコンセプトがプロムナードからの景観を考えた時に問題だったのではないかな。熊本城と同じ目線に入る位置でお城と同じ色合いのものを造るところに疑問がある。
- ・ 色と形態は関連するものであり、設計コンセプトが熊本城を意識して、力強さ、伸びやかさを表現しているのであれば、今回の建築計画よりも前回の方が力強さ、伸びやかさがあつたのではないかな。

＜その他＞

- ・ このような審議会では建築することに対して意識が向かうが、長く使われる中でメンテナンスのことにも配慮していただくことが必要ではないかな。